



【合唱祭を終えて】

11日(水)中央中学校「合唱祭」が北九州市立響ホールで開催されました。生徒会の工夫したオープニングとともにスタートしました。

スタートの1年生は、緊張した面持ちの中しっかりと歌いとおすことができました。2年生は、昨年度から飛躍的な進歩の姿を見せました。3年生は、実力にさらに磨きをかけ、素晴らしい合唱を披露することができました。

13日(金)には、八幡小学校全校児童を前に、金・銀・銅賞をとった3クラスが記念合唱を披露しました。その表情からは、取り組んできたことに自信を持っているものが伝わってきました。

昨年からはまった行事ですが、中央中学校の文化、のつに根付くことを願っています。



【前期を振り返って】

13日で前期が終わりました。半年を区切りとして、前期後期制の前期が終わりました。

コロナの状況の変化に合わせて、これまでの方法、新しい方法などを試行錯誤しながら、充実した学校生活になるように、生徒自身の頑張り、先生方のサポートの中で、進めてきました。

行事の厳選や方法の変更、教育相談や面談の充実、ICTを活用した授業など、まだまだ、終わりはありません。これから前に進んでいく必要があります。小中一貫や地域の中の学校として、SDGsやsociety5.0の時代に生きていく生徒の皆さんの力がつくような楽しい学校になるように努力していきましょう。

【☆特集2☆ 学習とその評価について】()内は、主な評価の観点

《通知表ができるまで》

・通知表は、次のような資料を基に作成されます。

- ① 授業中の発表等の様子(プレーの状況、作品作りの様相など) **(知識・技能)** **(思考・判断・表現)** **(主体的に学習に取り組む態度)**
- ② 授業中のノート、プリント、ワークの取り組み **(知識・技能)** **(思考・判断・表現)**
(整理されて書いているか。自分の考えを記述できているか。作図や課題に取り組んでいるか等)
- ③ 授業中の話し合いや活動に組み、自分の課題として考え、状況や内容に応じて判断し、その考えたことを、発表したり、書いたり、描いたり、歌ったり、試技、プレー等の方法で表現できている **(思考・判断・表現)** **(主体的に学習に取り組む態度)**
- ④ 自分の能力を把握し、粘り強く課題に取り組んでいるか。 **(主体的に学習に取り組む態度)**
- ⑤ 宿題やワークに組み、力をつけようと取り組んでいるか。 **(主体的に学習に取り組む態度)**
- ⑥ ミニテスト、章末テスト、単元末テストで理解したことを発揮したり、考えたことを記述したりしているか。 **(知識・技能)** **(思考・判断・表現)**
- ⑦ 定期考査で、この期間に学んできたことの定着度合いを発揮できているか。 **(知識・技能)** **(思考・判断・表現)**

このような基礎資料が集められ、通知表につながっていきます。各教科ともに年度や単元のはじめなどに、教科担任から、何を、どの程度できればよいかなどが説明されています。

それらが、三つの観点(知識・技能)(思考・判断・表現)(主体的に学習に取り組む態度)ごとにまとめられ、

- A 「十分満足できると判断されるもの」
- B 「おおむね満足できるものと判断されるもの」
- C 「努力を要すると判断されるもの」

の3段階で表されます。

また、その三観点の総合として、5段階評定が示され、

- 「5」 (十分満足できると判断されるもののうち特に高い程度のもの)
- 「4」 (十分満足できると判断されるもの)
- 「3」 (おおむね満足と判断されるもの)
- 「2」 (努力を要すると判断されるもの)
- 「1」 (一層の努力を要すると判断されるもの)として示しています。

- 合唱祭のご感想をお書きください。(ご家庭で話されたことや感想などお願いします。)また、「前期の振り返り」などもあれば、お書きください。紙面の不足は裏にもお書きの上、ご提出ください。

年 組 お名前

続柄 ()

【☆特集2－2☆ 学習とその評価について】

本校では、教科の内容や特性を考えて、このA,B,Cを点数化して、区切るのではなく、個々の学習の状態として示しています。なので(A,A,A)で、「5」の人もいれば、「4」の人もいます。また、(C,C,C)でも「2」の人と「1」の人がいます。

その生徒の現在の状態を示していると考えればよいと思います。

また、オンライン授業などで、授業を受けていても評価しようとしています。課題提出や発表などの機会が限られるので、課題提出やレポートなどが重要な内容になってきます。可能な限り、学校の授業で先生に自分の姿で、努力の様子を示してほしいと願っています。

一方で、学校に来ていても、伏せたり、先生の指示と異なることをしたりしているようでは、その学習に取り組んでいるとは評価されません。

また、ペーパーでのテストでどれだけたくさんの点を取れても学校の授業の状況を評価していますので、それだけでは、評定が高くない場合があります。塾や習い事によって身に付けた能力の努力は評価されますが、授業の様子や学校での成果の発揮が最も重要になります。

《通知表のどこを見る》

- ・何よりも見てほしいのは、各観点のA, B, Cです。そこに至ったには、理由があります。自分自身が一番わかっているところですが、わからない場合は、教科担任に訪ねてもらうことが、今後の改善のヒントを得られることになると思います。「態度」の観点は、少なくとも「C」をとらずに済むのではないかと考えています。夏休み前の懇談で示された資料で、おおむね、5段階の評定が予想できる状況になります。

《取り組んでほしいこと》

- ・まずは、あきらめずに日々の学習、学校での授業に一生懸命取り組んでほしいと思います。そうすれば基本的に「1」がつくようなことは、減ると思います。

《成績と進路受検方法》

- ・通知票で示された成績は、高等学校の進路資料になります。2学期制の本校では10月中旬の成績を、私学の調査書作成資料にすることが、私学協会との申し合わせで決まっています。
- ・また、近年、公立高校でも特色化選抜といった受検方法が加わってきました。出願事務や手続きが、年々早まっています。7月の成績では、どの入試方法（一般、推薦、特色化：後ろ二つは基本、専願）で受験するかを判断するかは、個々で考え、判断に迷うところですが、10月の成績が現状を示す直近の資料として、判断することになります。

年 組 お名前

続柄 ()